

国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2005」で F S C 森林認証を P R

林業経営室

平成17年12月15日(木)～17(土)日の3日間、東京ビックサイト(東京都江東区有明)で、「エコプロダクツ2005」が開催されました。エコプロダクツは境配慮型の商品やサービスの普及を目的に開催される国内最大級の環境展示会で、本年度は502の企業や団体が出展し、3日間で14万461人の来場がありました。

三重県は、WWF(世界自然保護基金)ジャパン/WWF山笑会と共同で出展し、F S C 森林認証制度の紹介や、三重県内の認証森林と認証製品の P R を行いました。



開催時期がクリスマス前という事もあり、ブースには F S C 認証を取得した下川町森林組合(北海道)から提供されたモミの木のクリスマスツリーが飾られ、紀北町の速水林業で生産されたヒノキを使用した世界で1台の F S C 認証ピアノによる演奏が行われるなど一際人目を引いていました。



F S C 認証ピアノの演奏

県内からは、WWF山笑会の会員でもある「東紀州・尾鷲ひのきの会」も参加し、パネルや製品の展示を行いました。

また、ブース内で行われたプレゼンテーションでは、森林管理者の立場から、吉田本家山林部の吉田正木氏と速水林業の速水亨氏から、違法伐採などによる世界の森林破壊がその地域に住む人々に大きな影響を与えている事例や、社会・経済・環境のそ

れぞれに配慮した持続可能な森林経営の必要性などについて、また、川上と川下との連携という立場から、東紀州・尾鷲ひのきの会の速水紫乃氏より履歴のわかる木材の産直への取組などについて報告が行われました。



三重県の認証森林等を紹介した展示の様子

その他、製紙メーカーや印刷用紙・P P C 用紙のサプライヤーから、古紙パルプを作るためにはバージンパルプを作るよりも多くのエネルギーが必要な事から、再生紙と認証紙(バージンパルプ)とを用途に応じて使い分けるのが最も環境に優しい方法である事などが報告されました。

ブース内では木製ブロックの組み立て体験なども行われ、小学生から大人まで多くの方で終始賑わいを見せていました。当日行ったアンケートの結果では、F S C の森林認証について知っているという回答の方は40%ありましたが、実際に認証製品を購入した事がある方は15%に過ぎませんでした。それでも、ほとんどの方が F S C の森林認証が森林を守るための有効な手段であると回答されており、今後こうした意識を製品購入に繋げていただくような努力が必要であると言えます。

© F S C (Forest Stewardship Council: 森林管理協議会) による森林認証は、世界中の全ての森林を対象に、環境保全の点から見て適切で、社会的利益にかなない、経済的にも継続可能な森林管理がなされている森林を認証します。

このような森林から産出された木材・木材製品に独自のロゴマークを付けることにより、認証を受けた森林から生産されたものであることを証明します。

FSC Trademark 1996 Forest Stewardship Council A.C. FSC-JPN-0004